

「ひとに寄り添う」。
あなたの力を
求めています。



公益社団法人 京都保健会

www.kyoto-hokenkai.or.jp



時には受け入れて
もらえないこともあるけれど、
患者さんの思いと力を引き出して、
一歩踏み出せた時、心の底から喜びあえる。
いつでも、患者さんの生活を中心に、
患者さんといっしょに歩む。
それが、私たちのリハビリ。

患者さんといっしょに歩む、
リハビリ。

「やっぱり家が一番や」
「家族の世話になりたくない」
「また畑やらなあかんや」
病気や障害をもってても、自分らしく、
住み慣れた地域で暮らしたい。
そのためには、どんなリハビリが必要？
どんな支援が必要？
仲間と、頭を抱えて考える。

これからのリハビリテーション
を担っていくみなさんへ



公益社団法人京都保健会
理事長
三浦 次郎

京都保健会は1956年に創立され、以来、京都民医連の一員として「必要な人に必要な医療・介護を提供する」ことを信条にしてきました。差額ベッド料をいただかず、また、低所得の方の窓口負担を免除する「無料低額診療事業」も積極的に活用しています。2012年度の窓口負担の免除額は1億円を超え、お金の心配がなく、誰もが安心して医療が受けられるよう頑張っています。

団魂の世代が全員65歳以上を迎え、さらに子どもが減り、今後、日本は高齢者の比率だけでなく、高齢者人口も急速に増加する超高齢化社会を迎えようとしています。この中で、リハビリ医療は非常に重要な役割を果たすことになります。私たちは京都民医連中央病院という急性期病院、地元に着した京都協立病院・吉祥院病院という3病院を含め、多くの診療所・介護事業所を運営しています。「生まれ育った地域で、元気に最期まで生活したい」という願いに応えるため、リハビリ部門も、超急性期から回復期・訪問リハまで幅広く取り組んでいます。多くの皆さんが、患者さん・利用者さん・地域の方と一緒にみんなの願いを実現するために、私たちと一緒に働いて下さることを願っています。

患者様の立場に立ち、
総合的なリハビリテーションを
目指して



京都保健会リハビリテーション部長
整形外科医師 松本 孝

医療や介護サービスが徐々に改悪されるなか、病気や障害からの全面的な復権を目指すリハビリテーションには、患者様に寄り添う心と、実現するための総合的な力が益々求められていると思います。

保健会のリハビリテーションは、80年代のリハビリ病棟の開設を皮切りに、総合病院での急性期から回復期までのリハビリ、地域に密着した他の病院でのリハビリ、老健施設、デイサービス、通院・訪問リハまで一つ一つ協力し合って展開してきました。少人数のスタッフになる分野では、技術や経験の限界に悩む事も多くなりますが、研修や学習・人事交流を常に行い、個々のスタッフも集団全体でも患者様に必要な力量を向上させてきたと自負しています。

全ての患者様が差別なく必要な医療・リハビリを受けることを目指し、一方で専門職として必要な総合的な力量を身につける壮大な挑戦に、私たちと一緒にぜひ参加してください。

キーワードは「いのちの平等」

戦後「医者にかかるのは死亡診断書を書いてもらう時だけ」という状況のなかで、「自分たちの病院を作ろう」と住民たちがお金を出し合って作ったのが、私たちの病院・診療所の始まりです。以来、地域の方々が一番身近な病院として、「いのちの平等」をキーワードに事業を行ってきました。医師研修や看護学校運営など人材育成の役割も果たしており、こうした活動の公益性が評価され、2011年に公益社団法人に移行しました。全日本民主医療機関連合会(民医連)に加盟し、全国のネットワークで医療の質向上や人材育成に取り組んでいます。



法人紹介

名 称：公益社団法人京都保健会
設 立：1956年3月20日
(2011年4月1日公益社団法人・移行登記)
事 業 所 数：○病院3 ○診療所14(歯科併設2)
○介護事業所等17 ○看護学校1 等
共同組織の状況：会員数25,851人(2014年1月現在)
職 員 数：○医師131名 ○看護師575名
○PT・OT・ST 計94名
計1,433名(2014年1月現在)



急性期から在宅まで、地域に求められるリハビリを。

京都保健会の事業所は、急性期病院から在宅療養を支える診療所やケアステーションまでさまざま。京都市内から府北部まで地域の特徴も多岐にわたります。どのフィールドでも大切にしているのは「その人らしい生活」です。

断らない

困難な患者さんでも在宅復帰をめざして

身体的・機能的に在宅復帰が難しいと思われる患者さん、生活保護や一人暮らしなど経済的・家庭的に困難を抱えた患者さんでも、在宅復帰をめざしてサポートします。



急性期病院でのリハビリを行ったけれども回復が思わしくない、一人暮らしで家族での介護が難しいなど、困難を抱えた患者様でも、入院を断らず、在宅生活の可能性を追求しています。「家に帰りたい」という患者様の希望を叶えられるように、医師、看護師、ソーシャルワーカーなど多職種で知恵を出し合い、自宅退院された時には「やってよかった」と充実感でいっぱいになります。

京都協立病院 PT
夜久 賢治 (2000年入職)

切れ目ない

急性期から在宅へ、一貫したリハビリを提供

法人内には、急性期病院に加え、在宅での療養を支える診療所、訪問看護ステーション、通所リハビリ等があり、連携して患者さんの生活をシームレスにつなぎます。セラピストとして多くのフィールドを経験することが可能です。

普段は診療所に勤務している為、病院での患者様の状態を確認することが難しいのですが、在宅復帰が決まると、直接病院のリハビリ担当者となり取りをして、状態を確認できます。京都保健会では、定期的にチームや院所を越えての交流をしていて、スタッフ同士の顔が見える関係が作られ、患者様の引継ぎがしやすい雰囲気があります。

上京診療所 PT
勝山 洋平 (2002年入職)

壁がない

職種間の隔たりや上下関係がなく、チームで患者さんを支える

患者さんを中心に、多くの職種がチームを作り治療にあたります。ピラミッド型の上下関係や職種間の隔たりがなく、それぞれの専門性をいかし、対等な立場でディスカッションできるのが特徴です。

京都への憧れとリハビリ室の雰囲気の魅力に魅かれ就職を決めました。今思うのは「あの時の直感は間違っなかった！」ということです。緊張と不安でいっぱいの私たち新人に先輩方からたくさん声をかけてもらい、話しやすく相談しやすい環境を作ってくれました。新人研修制度でバイザー、サブバイザーを中心に様々な相談にのってもらえ安心感がありました。日々悩みながら成長していきたいと思っています。

京都民医連中央病院 OT
加藤 瑞貴 (2013年入職)



歴史がある

京都のリハビリのなかでも有数の歴史をもつ

「その人らしい生き方を支える」ことを理念としていることから、京都のなかでも早くからリハビリテーション医療や在宅でのリハビリ支援に取り組んで来ました。治療ノウハウや人材育成の蓄積があります。

中枢疾患や整形疾患の後遺症を対象とする、機能追求のリハビリから今では呼吸、心臓、癌などの多くの病気の初期から関わり、固有の「その人らしい生き方を支える」為のリハビリに大きく活躍の場が広がっていると感じています。視野広く、目標高く、共に学び成長することをモットーに活気ある職場づくりと一緒に!!

京都民医連中央病院 PT
大城 春美 (1987年入職)



専門性を伸ばし、
多職種の仲間と育ちあう。

患者さんや地域のニーズに応えるリハビリを提供するために、私たちは教育・研修を重視しています。セラピストとしての専門性を獲得することはもちろん、職種の垣根を越えたチームに参加することで、多くの仲間と育ちあうことを大切にしています。

新人研修

それぞれのペースに合わせて、
じっくり・しっかり
指導します。

教育理念

多くの課題や問題に対し『自らが解決者』
となり、主体的に行動できる
後輩に対して、『民医連のリハビリテ
ーションスタッフ』として見本となる

仲間とともに
学びつづけることを
大切にします。

中堅研修

指導者とマンツーマンで、
常に相談しながら、研修を進めます。

1年目の研修プログラムの1例

4~5月	各種の業務を理解する
6~8月	先輩の指導のもと症例を担当
8~9月	半年間のケースレポートをまとめる
10~12月	ケースレポートを、京都民医連内で発表する
1~3月	1年間のまとめをおこなう

マンツーマンの コーチングシステム

半年間、担当スーパーバイザーがつき、日
常的な指導・相談を行うとともに、月1回
の面接で進捗状況を確認します。



リハビリを通して、患者様に何が提供できるのかということを実感することの難しさを感じ、言語聴覚士として関与することができるようになりました。私の働くリハビリ課は熱心な方が多く、先輩方の背中を追いかけながら、私らしいリハビリができるように日々精進していきたいと思っています。

京都協立病院 ST
松本 如代(2013年入職)

2年目以降も管理者等の面接通し、個々の希望を取り入れながら
研修プログラムを進行していきます。

獲得目標

1. 技術向上心を持ち、常に疑問を明らかにする
2. チームの特性を活かしたリハビリテーションを展開する
3. 対象者と一緒にQOLを考える
4. 研修会等に参加し、学習し成長する
5. 後輩等に対し教育的視点を持ち、助言や提案、さらに行動で示す
6. 多職種等の業務に関して知識を深め、ともに学び合う
7. 管理と経営視点を持ち、管理者の補佐をする
8. 民医連の活動を学び、地域活動・平和活動等へ積極的に参加し、後輩等へ伝える

院外研修・発表

研修・研究発表への費用補助があります。

民医連職員としての成長

京都保健会の事業所が加盟する「全日本民医連」では、全国68,000人、京都では約1,900人の職員が働いています。全国規模や京都民医連全体での研究会や交流会を開催しており、職種や職場を超えた仲間と一緒に成長することができます。

4年目以降では、実習生を担当したり、各チームのサブリーダーを任せられ、自己の成長と自信につながると感じています。個人的には、積極的にPT全国学会でポスター発表、回復期病棟業務として京都市脳卒中地域連携バスでシンポジジストを務めるなど、院外での活動に力を入れてきました。私たちと一緒に成長していきませんか？

京都民医連中央病院 PT
金本 雅俊(2005年入職)

発症直後から関わり
在宅へとつなぐ
411床の急性期病院



事業所
紹介 1

京都民医連中央病院

〒604-8453 京都市中京区西ノ京春日町 16-1

電話：075-822-2777

施設概要

病床数：411床

7:1入院基本料・DPC対象病床253床、回復期リハビリテーション病床42床、障害者病床52床、緩和ケア病床14床、医療療養病床50床

リハビリテーション施設基準等

- ◆心大血管疾患リハビリテーション料(I)
- ◆脳血管疾患等リハビリテーション料(I)
- ◆運動器リハビリテーション料(I)
- ◆呼吸器リハビリテーション料(I)
- ◆集団コミュニケーション療法

スタッフ数

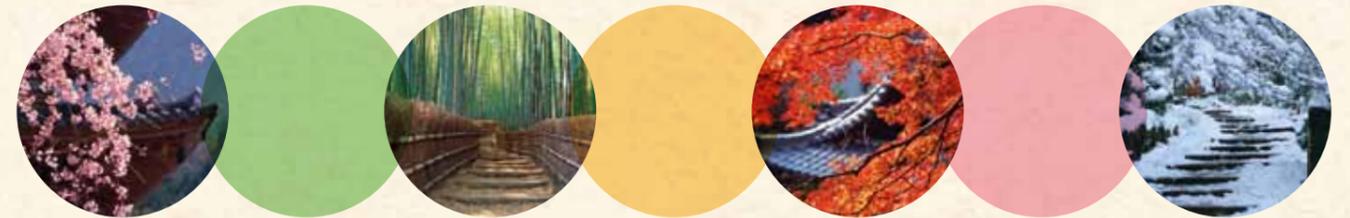


病院理念

- ①安全安心の医療を推進します
- ②患者様本位の医療を推進します
- ③地域に開かれた医療を推進します

病院方針

京都民医連中央病院は地域で必要とされる医療を患者様や地域の皆さんと手を携えて実現します。そのために、急性期、難病、緩和ケア、リハビリテーションなど、安全安心で質の高い医療を行うことが当院の使命です。



事業所のリハビリの特徴

急性期から回復期、慢性期、そして自宅へ一切れ目ないリハビリテーション

全ての疾患は、急性期から、回復期、維持期(慢性期)と変化していくため、各期にあわせてリハビリを行っています。具体的には各科急性期病棟、回復期病棟、療養病棟、障害者病棟、緩和病棟、外来リハビリに特化したリハビリを実施しています。

急性疾患発症後、または手術後早期よりリハビリが介入

し、転倒防止の工夫及び心身機能の向上・廃用症候群の防止を目的に、急性期から慢性期まで積極的にリハビリを行っています。スムーズな自宅復帰にむけ、家屋評価、退院前訪問指導、介助指導も必要に応じて行っています。また、癌末期の患者様に対しても緩和ケアチームの一員として、心理ケアをふくめたりリハビリを展開しています。



私は京都の基幹病院の1つであり、急性期から療養、緩和ケアまで包括的なリハビリを展開している当院に魅力を感じ就職を決めました。新人研修も充実しておりバイザーを中心に半年間丁寧な指導を受けることが出来ました。新人は半年毎にチーム交代があり、約3年間程度で多様な疾患のリハビリを経験できることが魅力的です。セラピスト総勢約70名、明るく活気のある職場です。様々な先輩方の臨床的思考やアドバイスに触れることができ、日々刺激になっています。



京都民医連中央病院
PT
近藤 知也
(2013年入職)



京都民医連中央病院
PT
塚田 ちひろ
(2008年入職)

整形外科、外科、循環器、一般内科など多数の急性期病棟でリハスタッフが働いています。各病棟専属の配置のため、入院から退院まで包括的にアプローチする経験は療法士として、自身の専門性を見つけるためにも重要なことではないでしょうか。総合病院での役割としては多岐に及び、悩むことも多々ありますが、患者様個人に合わせた介入をチームで検討する部分はやりがいを感じます。みなさんも、多に期待される職場で働きませんか？

私は2008年に入職し、6年目の現在、回復期リハビリテーション病棟に勤務しています。私の最も印象的な事例は大腿骨転子部骨折を受傷した80代女性への支援でした。「家に帰りたくない」と発言していた対象者と日課であった園芸を院内にて実施しました。これを機に自宅での園芸を再開したいという想いに結び付けることができました。作業療法士として対象者の想いに気づき、その人らしい生活を実現できるように他職種と連携することを心掛けています。



京都民医連中央病院
OT
岡山 友哉
(2008年入職)

在宅療養支援病院
機能強化型
生活を支える
地域での
住み慣れた



事業所紹介 2

吉祥院病院

〒601-8314 京都市南区吉祥院井ノ口町43

電話：075-672-1331

施設概要

病床数：44床(一般病棟)

リハビリテーション施設基準等

- ◆脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅲ)
- ◆運動器リハビリテーション料(Ⅱ)

スタッフ数

PT
2



病院理念

患者さんを中心に考え

- ①質が高く、信頼できるリハビリテーションを提供します。
- ②常に向上心を持ち続ける医療者を目指します。
- ③「生活を見る」視点を重視します。

事業所のリハビリの特徴

地域密着型・在宅医療に特化したリハビリ

「在宅で住み慣れた地域で、安心して療養して頂く為の機能強化型在宅療養支援病院」です。

亜急性期の患者さんの早期在宅復帰、在宅生活の質の維持と向上、在宅で介護をしているご家族の負担の軽減を目指しています。

その人の望む生活につなげる退院支援

入院時から退院後の生活を見据え、多職種と連携を強化し、全体像を共有し専門性を活かした介入を行なっています。患者さん自身最も望む在宅の生活につなげ、必要に応じ退院前訪問等で、福祉用具のアドバイス、住宅改修の提案を行います。



吉祥院病院 PT
四方 浩司
(2013年入職)

転職してきた、入職1年目の者です。医師をはじめ職員に気兼ねなく話せ、力になってくれる、サポート体制のある職場です。リハ室は、改装され広く明るく綺麗であり、スタッフは少数ですが、その分意見交換が多く行える環境にあると思います。患者さんの生活を見据えた中で、楽しくリハビリを行い、その人らしい生活に到達できるよう取り組み、地域とつながりのある事業所だと思っています。

急性期から在宅まで
府北部の医療を支える



事業所紹介 3

京都協立病院

〒623-0045 京都府綾部市高津町三反田1番地

電話：0773-42-0440

施設概要

病床数：99床(一般病棟52床、療養病棟47床)

リハビリテーション施設基準等

- ◆脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)
- ◆運動器リハビリテーション料(Ⅰ)
- ◆呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)

スタッフ数

PT
9
(内非常勤2)

OT
5

ST
3

病院理念

- 私達は、安全・安心の保健・医療を提供します。
- 私達は、親身で丁寧なサービスを提供します。
- 私達は、身近で便利な医療機関になります。
- 私達は、患者満足度向上の取り組みを継続的に進め、患者・住民と手をたずさえて地域づくりに貢献します。

事業所のリハビリの特徴

北部のリハビリを担う

高齢化の進む京都府北部の地方都市・農村地域である綾部市で、入院、外来(ST)でのリハビリテーションを提供しています。院長はリハビリテーションが専門です。規模が小さい分、スタッフ間のコミュニケーションが取りやすい病院です。

平成26年度には、綾部市では唯一の回復期リハ病棟を開設します。リハビリテーション機能を高め、急性期と在宅のスムーズな橋渡しが出来る病院を目指して、質、量ともの充実を図っています。



京都協立病院 OT
鞆岡 風真
(2012年入職)

「やっぱり外で畑するんはいいね。またトマトが大きくなって。私も家帰るんにリハビリ頑張らな。これは当院敷地の一角で実施している園芸活動の時に交わした、ある患者様との会話です。当院の患者様は、地域柄、生来農業を生業としている方が多く『病院から生活を始めよう』を合言葉に、リハビリに園芸を取り入れています。『作業は人を元気にする』を実感し、これこそが私の作業療法士としてのやりがいとなっています。段差があるなど昔ながらの家も多いのですが、地域固有の課題やニーズに対しても上手く生活場面に組み込んだ訓練メニューを立案・実施しています。退院後は往診や訪問リハ、健康友の会などと連携して生活支援も実施しています。



外来・訪問リハビリで在宅での暮らしを支える

事業所紹介 4



「患者さんの「家」が病室」その人らしい暮らしを支えるリハビリ

事業所紹介 5



地域住民と一体で予防と生活期のリハビリを重視

事業所紹介 6



上京診療所

〒602-8305 京都市上京区千本通寺之内下ル花車町482-2
電話：075-432-1261

スタッフ数

リハビリテーション施設基準等

PT 2 OT 1

- ◆脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅲ)
- ◆運動器リハビリテーション料(Ⅲ)

事業所のリハビリの特徴

外来リハビリでは、患者さんと1対1で関わりながら、在宅生活に生かすことのできるリハビリを展開しています。
訪問リハビリでは、利用者さんの生活する環境で、家族さんや地域の人々も巻き込みながらリハビリを展開しています。
訪問診療を行う医師や看護師などと同じ部屋で仕事をするため、医学的な連携が取りやすく、近隣に同一法人の総合ケアステーションや居宅支援事業所なども位置しており、介護分野での情報共有も行きやすく、チームで在宅医療・介護を行う体制を持っています。もちろん、法人外の事業所とも深く関わりがあります。



上京診療所 OT
堀口 拓己
(2002年入職)

訪問リハビリは利用者さんの在宅での様子を直接確認することができ、生活の具体的な課題を明確にすることができます。訪問リハビリの観点で関わることで、生活期でありながらも利用者さんの変化はでやすく面白さもあります。仕事の中で四季を感じたり、他事業所のスタッフとの関わりもとても刺激になります。多少残業もありますが、自分(家族)の時間も大切にしている、子育てのために定時に帰宅することもできます。

総合ケアステーション太秦安井

訪問看護ステーション太秦安井・ヘルパーステーション太秦安井・居宅支援太秦安井
〒616-8071 京都市右京区太秦安井藤ノ木町2-2 電話：075-283-0112

スタッフ数

PT 2



事業所のリハビリの特徴

京都市北西部にて、訪問看護・訪問介護・居宅介護支援事業所の3部門を統合した総合ケアステーション太秦安井の中で訪問看護ステーションに所属し、自らの専門性と情報共有しやすい環境を活かして、地域の利用者様・家族様の多様なニーズに対応しています。また疾患・障害が多岐にわたる利用者様の医学的側面に対しても、同一法人診療所の医師や地域の開業医、当事業所の訪問看護師との連携により、様々なサポートを受けやすい環境にあります。



総合ケアステーション太秦安井 PT
高田 昌幸
(2010年入職)

訪問でのリハビリでは身体機能の維持・改善に留まらず、利用者様を取り巻く環境を設定する事で出来る能力の改善も必要とします。利用者様を取り巻く環境とは、住宅環境や社会資源、家族の支援も含まれます。環境を設定するとは、住宅改修や福祉用具の選定、家族への介助指導などがそれに当たります。そんな理学療法士としての総合的な能力を問われるこの分野にやりがいを感じながらも、自身の課題と向き合う日々です。

ふくちやま協立診療所 ほっとステーションきぼう

ふくちやま協立診療所
〒620-0807 福知山市土士1番地 電話：0773-20-2666
ほっとステーションきぼう
〒620-0856 福知山市土師宮町1丁目136-2 電話：0773-20-4155

スタッフ数

OT 1



事業所のリハビリの特徴

ふくちやま協立診療所は、患者様や地域の人々にリハ相談や健康教室・医療懇談会、地域機関への講師派遣など、保健予防活動を中心に行っています。ほっとステーションきぼうは訪問リハビリを行っています。「住みなれた街で、皆が生き生き暮らせるように」を合言葉に、事業所と健康友の会、地域住民とが一体で「地域にねざした医療展開」を行っています。リハビリ分野においても地域からの要望・期待が大きく、予防と生活期リハビリを中心とした地域リハビリテーションの拠点として総合的な事業展開を考えています。

京都協立病院から、ふくちやま協立診療所へ異動してきました。作業療法士1名ですが、他職種の間と相談しながら、地域のリハビリテーションを考えています。少ない人数で、地域の人々の健康をリハビリテーションの視点で支えることは、今まで経験してきた病院の中でのリハビリテーションとは、大きな違いがあります。地域住民、開業医、ケアマネジャー、保健所や市など様々な方々と手を取り合い、試行錯誤しながらのやりがいある毎日をお過ごしています。

ふくちやま協立診療所 OT
今井 昌之 (2003年入職)



このまちで、いきいき働きたい。

働き続けられる環境づくり

仕事を効率的にこなすにはプライベートの充実も重要。京都保健会では積極的な有給消化を進めています。また、子育てしながら働き続けられる環境づくりを重視しています。



ママセラピストのコメント

京都民医連中央病院 OT
内田 明子 (2002年入職)

就職してから11年半になります。現在2人の子どもを出産し、時短で働きつつ今3人目を妊娠中です。育児と仕事と家事の両立というのは大変なことで、心身ともにくじけそうになることもあります。その度に先輩・後輩の「大丈夫ですよ」という温かい声掛けに助けられ、励まされてきました。出産を機に女性が仕事を辞めざるを得ない状況が多い中、ここでは多くのパパ・ママが誕生し、働き続けています(約3割!)。時には育児の愚痴も言いながら、ぜひ一緒に楽しく働きましょう!

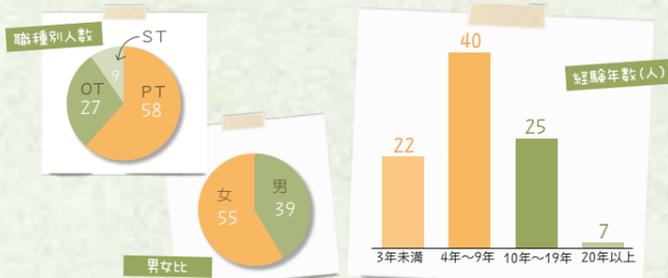
主な資格

- ◆福祉住環境コーディネーター2級
- ◆福祉用具プランナー
- ◆介護支援専門員
- ◆三学会合同呼吸療法認定士
- ◆心臓リハビリテーション指導士
- ◆ボパース成人・小児認定
- ◆回復期セラピストマネジャー
- ◆専門理学療法士(生活支援)
- ◆認定理学療法士(運動器)
- ◆認定理学療法士(呼吸)

主な地域別出身校

- ◆滋賀県 滋賀医療技術専門学校
- ◆京都府 京都医療専門学校/京都大学/佛教大学
- ◆大阪府 大阪医療福祉大学/大阪行岡医療大学/藍野大学/大阪医専/関西医療学園専門学校/大阪医療福祉専門学校/関西福祉科学大学
- ◆兵庫県 神戸医療福祉専門学校/平成医療専門学校
- ◆奈良県 関西学研医療福祉学院/畿央大学
- ◆関東 国際医療福祉大学/群馬大学
- ◆東海・北陸 信州大学/新潟リハビリテーション大学/日本福祉大学/福井医療短期大学
- ◆中国・四国 吉備国際大学/愛媛十全医療学院/リハビリテーションカレッジ島根/県立広島大学
- ◆九州 医療福祉専門学校緑生館/国際医療福祉大学大川キャンパス

京都保健会リハビリテーション部DATA



支える側がいきいきしていなければ、患者さんに意欲を出してもらうことはできないと、私たちは働き続けられる職場づくりを大切にしています。ぜひ職場の雰囲気を見に来てください。そして、観光ガイドではわからない京都の魅力にも触れてください。

Map in Kyoto



見学案内

随時受け付けています。

訪問リハビリも条件が合えば見学いただけます。

まずはお問い合わせください。

問い合わせ先 Tel.075-813-5901

